

# 平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成29年 4月18日（火）

2 調査対象 第3学年生徒110名

## 3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語A、国語B 数学A、数学B）

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力）」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

## 4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A（主として知識に関する問題）、国語B（主として活用に関する問題）は、ともに、おおむね全国平均正答率と同程度でした。  
 数学A（主として知識に関する問題）、数学B（主として活用に関する問題）は、ともに、おおむね全国平均正答率と同程度でした。

(2) 生徒質問紙調査

### 成果が見られた項目

- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。
- 学校の部活動に参加していますか。
- 家の人は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。
- 学校で友だちに会うのは楽しいと思いますか。
- 学校で、好きな授業がありますか。
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。

### 課題が見られた項目

- 友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。
- 家で学校の授業の予習をしていますか。

## 5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、国語科、数学科共に全国平均とほぼ同程度であり、全体的にバランス良く解答されていました。強いて上げるならば、国語科では「読むこと」の「文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くする」分野、数学科では「図形」の「命題から仮定を読みとる」分野が全国平均を下回っており、この部分に課題が見られました。その対応策として、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- 発表の際に、多くの意見を聞き、判断し、自分の考えを持つことができるような、話し合い活動の場面を多く取り入れた授業展開をしていきます。
- 自分の考えや意見を相手にうまく伝えることができるような場面を意図的に設定し、文章の構成能力を高め、合わせて読み取り能力の向上を目指します。

## 6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習・生活環境づくりについて、家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- ・生活リズムの中で家庭学習の確立と学習時間の確保ができるよう環境づくりに努める。
- ・読書の奨励、新聞を読むことの習慣化を促す。
- ・地域の行事や作業などへの中学生の積極的な参加を促す。